

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 エヌ・イー ケムキャット株式会社
 コード番号 4106 URL <http://www.ne-chemcat.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 企画管理部経理担当部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

(氏名) 牧野 進
 (氏名) 後藤 貴行
 配当支払開始予定日

TEL 03-3435-5491
 平成21年12月9日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	23,512	△51.8	1,397	△73.1	1,435	△73.7	846	△75.1
21年3月期第2四半期	48,773	—	5,189	—	5,454	—	3,405	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	29.21	—
21年3月期第2四半期	117.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	53,857	44,421	82.5	1,533.30
21年3月期	54,147	43,925	81.1	1,516.18

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 44,421百万円 21年3月期 43,925百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	43.00	—	15.00	58.00
22年3月期	—	15.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△32.0	2,800	△47.9	2,900	△51.3	1,800	△53.0	62.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 28,985,000株 21年3月期 28,985,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 14,200株 21年3月期 13,900株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 28,971,075株 21年3月期第2四半期 28,972,644株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成しております。業績予想の前提となる条件等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、在庫調整が一段落したことや、政府の内需刺激策に伴う大型消費材の販売回復などにより後半には景気回復の動きが見え始めましたが、依然として厳しい情勢でありました。

当社を取り巻く環境につきましては、当社の関連する業界のうち、石油化学工業界は、中国を中心としたアジアにおいて一部の石油化学製品の需要が回復するなど、部分的に回復の兆しが見られました。自動車業界では、国内の自動車販売台数がエコカー減税等の優遇税制の影響もあり、わずかながら回復基調に転じましたが、輸出台数は低調で、国内生産台数は前年同期に比べ大幅に減少しました。電子部品業界では、在庫調整が一段落したことや、助成金制度の寄与により、全体的に回復基調にありました。

このような状況のもと、当社は、国内外において積極的に営業活動を行うとともに、製品の性能および生産性の向上ならびに新技術の開発を図り収益の確保に努めてまいりましたが、前年同期と比べ事業環境の悪化は著しく、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比51.8%減の23,512百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期比73.7%減の1,435百万円、四半期純利益につきましては、前年同期比75.1%減の846百万円となりました。

部門別の概況

① 化学触媒部門

主要マーケットである石油化学工業界は、中国を中心としたアジアにおいてポリエステルやペットボトルの原料となる石油化学製品の需要が回復したことなどにより部分的には回復の兆しが見られましたが、依然として厳しいビジネス環境でありました。

このような状況において、当部門における、石油化学工業向けの触媒販売は、顧客の稼働率の低減やプラントの一時停止の継続などにより納入量が減少し、売上高は前年同期を下回る結果となりました。他方、医薬・農薬関連向け触媒は、販売が比較的堅調に推移いたしました。また、貴金属回収精製の売上高は、前年度後半の触媒販売量の減少の影響があり、前年同期を下回る結果となりました。これらの結果、当部門の売上高は、前年同期比39.1%減の2,337百万円となりました。

② 自動車触媒部門

当第2四半期連結累計期間の国内自動車販売台数は、エコカー減税等の優遇税制の影響もあり、わずかながら後半から回復基調に転じた結果、前年同期比10.0%減の218万台となりました。しかしながら、自動車の輸出台数は前年同期比48.5%減の177万台と低調で、国内生産台数は前年同期比33.4%減の386万台となりました。このため、自動車排ガス浄化用触媒の需要は大幅に落ち込み、前年同期を大きく下回る結果となりました。また、貴金属価格の下落により製品に含まれる貴金属の売上も減少し、これらの結果、当部門の売上高は、前年同期比57.7%減の9,005百万円となりました。

③ 表面処理薬品部門

当第2四半期連結累計期間の電子部品業界は、在庫調整が一段落したことや、米国、中国、日本をはじめとする各国の消費喚起のための助成金制度が寄与し、テレビ、生活家電、自動車関連などの分野で後半にかけて需要の回復が見られたことにより全体的に回復基調にありましたが、依然として厳しい状況でありました。

この結果、当部門の売上高は、前年同期比42.7%減の11,252百万円となりました。

④ 貴金属

貴金属の売上高につきましては、販売量の減少に加え、価格下落が重なり、前年同期比77.1%減の918百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 連結財政状態の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて175百万円増加し36,520百万円となりました。これは、主として有償受給材が2,946百万円、未収入金が695百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,811百万円、現金及び預金が1,583百万円及びたな卸資産が409百万円増加したことによります。有償受給材及び未収入金は、主に有償受給材の価格が下落したことにより減少となりました。一方、受取手形及び売掛金は、前年度第4四半期に比得当第2四半期の販売が回復に転じたため増加となりました。(なお、現金及び預金の内容につきましては、四半期連結キャッシュ・フロー計算書をご参照ください。)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて465百万円減少し、17,337百万円となりました。これは、主として有形固定資産が510百万円減少したことによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて811百万円減少し9,029百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が993百万円、未払法人税等が477百万円増加したものの、未払金が2,160百万円減少となったことによります。支払手形及び買掛金並びに未払法人税等は、主に当第2四半期連結累計期間の業績が前年度後半に比べ回復したことに伴い増加となりました。一方、未払金の減少は主に有償受給材の価格が下落したことに伴いその支払債務が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて26百万円増加し408百万円となりました。これは、主として退職給付引当金が29百万円増加したことによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて495百万円増加し44,421百万円となりました。これは、主として利益剰余金が412百万円増加したことによるものであります。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ1,586百万円増加し、18,503百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比2,670百万円収入減少の3,022百万円となりました。収入の減少は、主として法人税等の支払額が前年同期比1,793百万円減少し資金増加となった一方、税金等調整前四半期純利益が前年同期比4,013百万円減少となったことによります。当第2四半期連結累計期間における法人税等の支払額は、前年度後半の業績が急激に悪化したことに伴い前年同期に比べ減少となりました。税金等調整前四半期純利益につきましては、前年同期に比べ事業環境が著しく悪化したため大幅な減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比174百万円支出減少の1,002百万円となりました。
支出の減少は、主に前年同期に比べて無形固定資産の取得による支出が106百万円、有形固定資産の取得による支出が67百万円それぞれ減少したことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期比1,029百万円支出減少の435百万円となりました。
支出の減少は、主に前年同期に比べて配当金の支払が928百万円減少の435百万円となったことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、現時点において前回の連結業績予想発表時（平成21年9月14日）と下半期の景況見込みに大きな差異は認められないため、前回予想からの修正を行っておりません。

(ご参考) 前回発表（平成21年9月14日付）の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成22年3月期予想（通期）	50,000	2,800	2,900	1,800

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1) 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額については、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,498,644	13,915,600
受取手形及び売掛金	7,718,662	5,908,021
有価証券	3,004,847	3,002,163
たな卸資産	5,002,642	4,593,767
有償受給材	2,481,992	5,427,801
未収入金	2,393,118	3,088,495
その他	421,965	409,657
貸倒引当金	△1,455	—
流動資産合計	36,520,415	36,345,504
固定資産		
有形固定資産	11,991,288	12,501,559
無形固定資産	867,272	931,700
投資その他の資産	4,478,454	4,368,364
固定資産合計	17,337,014	17,801,623
資産合計	53,857,429	54,147,127
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,632,900	2,640,300
未払金	3,574,231	5,734,078
未払法人税等	560,174	83,464
役員賞与引当金	8,789	59,000
その他	1,252,568	1,323,185
流動負債合計	9,028,662	9,840,027
固定負債		
退職給付引当金	323,535	294,540
役員退職慰労引当金	75,098	75,098
その他	9,338	12,055
固定負債合計	407,971	381,693
負債合計	9,436,633	10,221,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,423,500	3,423,500
資本剰余金	2,808,274	2,808,274
利益剰余金	38,609,607	38,198,008
自己株式	△33,916	△33,437
株主資本合計	44,807,465	44,396,345
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△23,695	△17,243
繰延ヘッジ損益	6	△108
為替換算調整勘定	△362,980	△453,587
評価・換算差額等合計	△386,669	△470,938
純資産合計	44,420,796	43,925,407
負債純資産合計	53,857,429	54,147,127

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	48,773,281	23,512,163
売上原価	40,663,676	19,579,301
売上総利益	8,109,605	3,932,862
販売費及び一般管理費	2,920,559	2,535,365
営業利益	5,189,046	1,397,497
営業外収益		
受取利息	9,989	23,988
受取配当金	600	3,655
受取保険金	83,438	5,077
持分法による投資利益	273,384	42,220
雑収入	11,917	15,475
営業外収益合計	379,328	90,415
営業外費用		
支払利息	1,078	—
メタル借入料	86,459	36,128
為替差損	18,422	15,627
雑損失	8,251	1,056
営業外費用合計	114,210	52,811
経常利益	5,454,164	1,435,101
特別利益		
固定資産売却益	664	—
特別利益合計	664	—
特別損失		
固定資産売却損	76	—
固定資産除却損	10,114	7,090
ゴルフ会員権売却損	4,180	500
特別損失合計	14,370	7,590
税金等調整前四半期純利益	5,440,458	1,427,511
法人税等	2,035,653	581,345
四半期純利益	3,404,805	846,166

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,440,458	1,427,511
減価償却費	1,229,657	1,134,758
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△376	1,447
持分法による投資損益 (△は益)	△273,384	△42,220
のれん償却額	30,161	30,161
固定資産除却損	10,114	7,090
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	40,947	28,999
受取利息及び受取配当金	△10,589	△27,643
支払利息	1,078	—
売上債権の増減額 (△は増加)	581,675	△1,811,528
未収入金の増減額 (△は増加)	△997,534	704,845
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,566,330	△408,101
有償受給材の増減額 (△は増加)	△2,217,406	2,945,809
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,114,882	996,152
未払債務の増減額 (△は減少)	3,346,987	△1,744,909
その他	△198,800	△184,599
小計	7,434,436	3,057,772
利息及び配当金の受取額	104,799	18,209
利息の支払額	△542	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,846,826	△54,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,691,867	3,021,913
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△988,994	△922,049
無形固定資産の取得による支出	△155,536	△49,121
その他	△31,278	△30,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,175,808	△1,001,984
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
配当金の支払額	△1,362,793	△435,014
その他	△2,125	△479
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,464,918	△435,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33,628	1,292
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,017,513	1,585,728
現金及び現金同等物の期首残高	9,196,343	16,917,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,213,856	18,503,491

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)および当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

親会社および連結子会社は、国内外の顧客に対して化学触媒・自動車触媒・表面処理薬品等の製品および商品の製造・販売を中心とした化学品事業のみを行っており、単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)および当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	東アジア	東南アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	4,911,260	9,189,990	21,916	5,597	14,128,763
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	48,773,281
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.1	18.9	0.0	0.0	29.0

- (注) 1 地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 各区分に属する主な国または地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 東アジア……韓国、台湾、中国など
 (2) 東南アジア……タイ、シンガポール、フィリピンなど
 (3) 北米……アメリカ
 (4) その他の地域…イギリス、ドイツ

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	東アジア	東南アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,744,937	2,711,131	18,335	24,278	5,498,681
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	23,512,163
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.7	11.5	0.1	0.1	23.4

- (注) 1 地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 各区分に属する主な国または地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 東アジア……韓国、台湾、中国など
 (2) 東南アジア……タイ、シンガポール、フィリピンなど
 (3) 北米……アメリカ
 (4) その他の地域…ベルギー、オランダなど

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

6. その他の情報

【生産、受注および販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
化学触媒	1,385,459	64.6
自動車触媒	7,415,901	43.6
表面処理薬品	8,706,500	55.0
貴金属	862,938	23.5
計	18,370,798	47.5

- (注) 1 金額は、製造原価額によって表示しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 貴金属は、各部門の製品中に含まれる貴金属のうち別売りされたものに対応する製造原価額によって表示しております。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
化学触媒	2,634,255	73.5	1,339,826	96.1
自動車触媒	9,064,008	44.2	242,741	21.2
計	11,698,263	48.5	1,582,567	62.4

- (注) 1 金額は販売価格によって表示しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 受注生産をしている事業部門は化学触媒、自動車触媒であり、表面処理薬品は主として見込み生産をしております。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
化学触媒	2,336,947	60.9
自動車触媒	9,005,136	42.3
表面処理薬品	11,251,719	57.3
貴金属	918,361	22.9
計	23,512,163	48.2

- (注) 1 貴金属は、各部門の製品中に含まれる貴金属のうち別売りされたものであります。
 2 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
BASF ケムキャット (タイランド) リミテッド	8,090,196	16.6	1,930,863	8.2

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。